

■公開質問状「協議会 3.11.メッセージ」と貴党の文化政策について

民主党（回答日：2013年6月28日）

1. 文化政策の基本的な考え方について

日本の伝統的な文化芸術を継承し、発展させるとともに、独創性のある新たな文化芸術の創造を振興します。子どもたちが学校教育などを通じて、文化芸術に触れる機会を増やします。税制・金融措置などの支援措置を講じつつ、個人やNPO・NGOなど市民団体・企業など多様な主体が一定のルールのもとで、文化なども含めた公益に参加し、「新しい公共」をさらに積極的に進めていきます。

2. 「文化芸術立国を目指すうえで、今後数年のうちに文化予算を2倍にしたい」との下村文部科学大臣の発言について

民主党政権においても文化予算を増やしてきた実績があります。文化予算を充実させることは当然ですが、数年間で2倍という数字をあげる以上は、手順、具体的な内容、財源などを明確に示すべきです。内容をしっかり精査して、最良の文化予算をつくっていくべきだと考えます。

3. 文化政策と経済政策のかかわりについての意見

景気回復・デフレ脱却をはかっていくことは当然ですが、文化的な重みのある経済社会を確立していくことが求められます。文化政策と経済政策を有機的に結び付けて展開していく必要があると考えます。

4. 地域文化振興についての考え

被災地も含めて、日本には豊かな地域文化、郷土芸能があり、後押しをしていくべきと考えます。地域文化の付加価値化・ブランド化の促進、また、エコツーリズム、グリーンツーリズムを推進し、持続可能な観光をめざします。さらに、地域において文化財を活用した地域づくりのための規制緩和等を検討すべきと考えます。

5. 国際交流における日本文化の重要性について、特に東アジアにおける文化交流についての考え

民主党政権でもクール・ジャパン戦略を推進したように、日本文化を世界に積極的に発信していくべきです。東アジアも含めた経済発展のめまぐるしい地域との関わりは特に重要です。とりわけ日本の各地域に根差した文化を軸に近隣諸国と交流を深めていく意義はますます高まっていると考えます。

6.「協議会.3.11.メッセージ」について気づいた点

メッセージをしっかりと拝読させていただきました。地域文化を生かした復興への取り組みをはじめ、具体的な事例が記されており、日本には誇るべき地域文化があり、文化政策と経済政策を融合させ、被災者に寄り添った震災復興、福島再生をやり遂げる必要性があることをあらためて確信しました。

以上